2009年11月26日

防衛大臣
北澤　俊美　様

北海道平和運動フォーラム
代　表　箱山富美子
代　表　江本　秀春
代　表　山田　　剛
平和運動フォーラム石狩地域協議会
代表幹事　千葉　則理
代表幹事　丸岡　久信
札幌平和運動フォーラム
代表幹事　飯田　　晃
代表幹事　高桑　史嘉
代表幹事　今　　昭人
代表幹事　長久保　清

東千歳駐屯地における日米共同方面隊指揮所演習の中止を求める要請

＜要請趣旨＞

報道によると陸上自衛隊北部方面総監部は、本年度の日米共同方面隊指揮所演習を12月1日から14日まで東千歳駐屯地で行うことを発表したとのことです。道内における同演習は、5年ぶり13回目となるもので、日本が侵攻を受けた「有事」を想定し、コンピューターで行う図上演習で各方面隊の持ち回りで毎年実施されているものです。今回は、北部方面隊約4，500人、沖縄などの在日米陸軍約1，200人が参加する大規模な演習です。これは、今後細部にわたった実戦訓練へと発展していくことが危惧されます。さらに、緊張を高めている東北アジア諸国を挑発するとともに、米国追従外交の転換や対話を基調とした「アジア共同体」を提唱する鳩山政権の基本方針にも反するものであると考えます。

一方、前の政権によってすすめられてきた嘉手納基地訓練の一部移転・分散は「沖縄の負担を軽減するため」とされていますが、現実には米軍再編による移転訓練の強行以降、沖縄嘉手納基地には国内外の米軍基地より飛来した戦闘機は従前の4倍以上に達するなど訓練が強化されている実態にあり、沖縄県民の爆音被害や墜落への不安は増大しています。北海道においても千歳基地における移転訓練の強行により、爆音・騒音被害がすでに道民にもたらされ、将来、墜落事故や大きなトラブルが起きるのではないかという不安を持たざるを得ません。

このように日米共同演習や米軍の軍事訓練移転の強行は、平和を求める多くの道民・国民の願いを踏みにじるだけでなく、自衛隊を含む国民の生活と生命を守ってきた日本国憲法にも反するものであり、断じて容認できません。

私たちは、武力による国際紛争の解決を永久に放棄すると定めた日本国憲法を遵守し、平和な国際社会の実現に向け、すべての軍事基地が整理・縮小・廃止されることを強く求めています。

以上のことから、貴職に対して次の各事項について強く要請します。

＜要請事項＞

１、東千歳駐屯地における日米共同方面隊指揮所演習を中止すること。
２、千歳基地への米空軍戦闘機訓練移転を撤回すること。
３、普天間基地の一部辺野古移転を含めた「グアム協定」を見直すとともに、在日米軍基地の縮小・撤去を早急に行うこと。

以　上